

地域とお客さまのために

しんきんATMゼロネットサービス

しんきんのキャッシュカードなら、全国どこでも「しんきんATM」でも、ATMご利用手数料が無料(注)でご利用いただけます。

ゼロネットサービスタイム 平日/8:45~18:00の入出金
土曜/9:00~14:00の出金

(注)・上記以外の時間帯および日曜・祝日のATM利用には、所定の手数料がかかります。
・本サービスをご利用いただけない「しんきんATM」が一部ございます。

とちまるネットサービス

とちまるネットなら、栃木県内7つの提携金融機関のATMからのお引き出し手数料が平日無料でご利用いただけます。

利用時間帯 平日8:45~18:00(注)

提携金融機関：栃木信用金庫、大田原信用金庫、烏山信用金庫、足利銀行、真岡信用組合、那須信用組合
(注)その他の時間帯は所定の手数料がかかります。
信用金庫間は「しんきんATMゼロネットサービス」を優先してご利用いただけます。

お客さま相談センター

お客さまからのご意見をいただき、より良いサービスが提供できるよう「お客さま相談センター」を設置しております。

- フリーダイヤル:0120-357-500
- FAX:0283-22-6628
- Eメール: info-ss@po.sanoshin.co.jp

お気軽にご連絡ください!



お客さま一言メモ

お客さまの貴重なご意見をいただき、メモを作成し、必要な業務の改善とお客さま満足度の向上に努めております。
(26年度 上期実績213件)

地域サービス・貢献活動

*毎週土曜日・ローン&マネープラザ年金個別説明会

*毎月1回・第3水曜日 堀米支店年金&マネー説明会

*毎年1回・秋山川・菊沢川の清掃活動(クリーン運動)
(今年度は11月15日(土)に実施)

*その他・地方公共団体、商工会議所等地域諸団体活動への協力
・「小さな親切」運動佐野支部事務局として、小・中学校交歓会、ポスター・標語審査会などを運営
・さの秀郷まつり、たぬまふるさと祭り、くずらフェスタ、サマーフェスタinいわふねなど地域のお祭りやイベントへの参加

トピックス

4月1日 入庫式(新入職員8名)

5月10日 くずらフェスタ2014参加(葛生支店職員5名参加)

5月12日 金融庁検査受検(立ち入り初日)

5月15日 第25回さのしん年金友の会旅行催行
(~16日 山梨・静岡方面 122名参加)



6月2日 「さのしんサマーキャンペーン」の実施(~8月15日)

6月9日 信用金庫の日「謝恩ウィーク」(~13日)

6月12日 信用金庫の日「献血事業」実施

6月13日 信用金庫の日「全店おもてなし企画」実施

6月25日 第37回通常総代会

7月14日 第4期さのしん経営塾開講式(会員71名)
第1回講義並びに交流会(受講者58名)
(テーマ…“なりた姿”を明確にする~ビジョンがなければはじまらない~)

8月3日 たぬまふるさと祭り参加(田沼支店職員5名参加)

8月9日 さの秀郷まつり市民総踊り参加(役職員74名参加)



サマーフェスタinいわふね参加(岩舟支店ほか職員9名参加)

9月1日 個人年金保険「たのしみ未来」取扱開始

9月8日 「健康フェア」開催(~12日)(西支店ロビーにて)

9月10日 金融庁検査結果通知書受領

9月16日 「さのまるキャッシュカード」取扱開始

店舗のご案内

本店営業部 〒327-0013 佐野市本町2910番地
TEL. 0283-22-3377

田沼支店 〒327-0317 佐野市田沼町291番地1
TEL. 0283-62-1515

堀米支店 〒327-0843 佐野市堀米町285番地11
TEL. 0283-24-4411

南支店 〒327-0831 佐野市浅沼町43番地4
TEL. 0283-24-7411

ローン&マネープラザ 〒327-0821 佐野市高萩町1332番地5
フリーダイヤル 0120-009-695(水曜・祝日定休)
営業時間:平日10:00~19:00、土日9:00~15:00

岩舟支店 〒329-4307 栃木市岩舟町静5160番地5
TEL. 0282-55-2955

石塚支店 〒327-0103 佐野市石塚町2709番地
TEL. 0283-25-2122

葛生支店 〒327-0507 佐野市葛生西1丁目1番18号
TEL. 0283-86-3875

西支店 〒327-0004 佐野市赤坂町954番地2
TEL. 0283-23-5788

佐野市役所田沼庁舎キャッシュサービスコーナー

イオンモール佐野新都市キャッシュサービスコーナー

2014

SANO SHINKIN BANK MINI DISCLOSURE

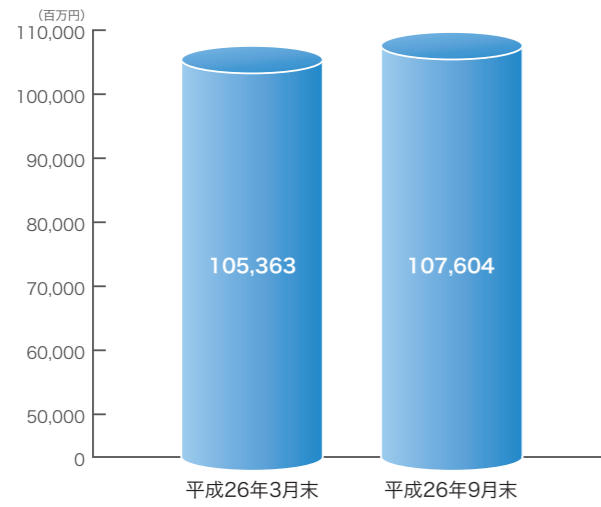
平成26年度上期 事業のご報告

自 平成26年4月1日

至 平成26年9月30日

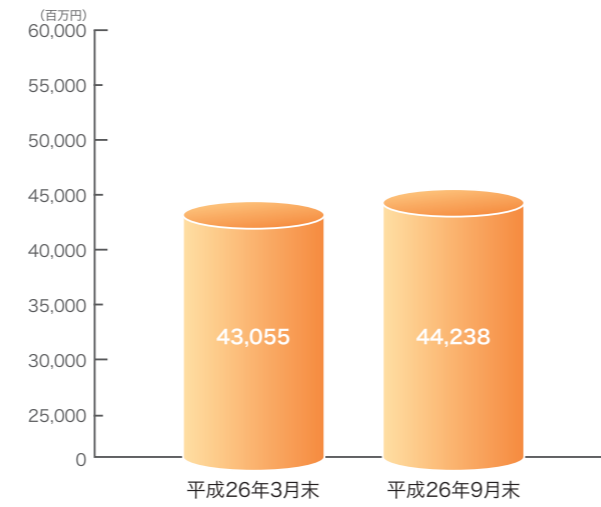
預金の状況

預金残高は、上期中2,240百万円増加し107,604百万円となりました。



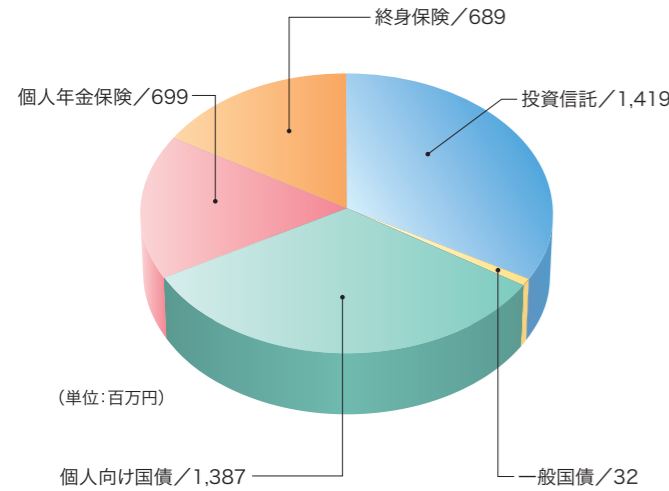
貸出金の状況

貸出金残高は、上期中1,183百万円増加し44,238百万円となりました。



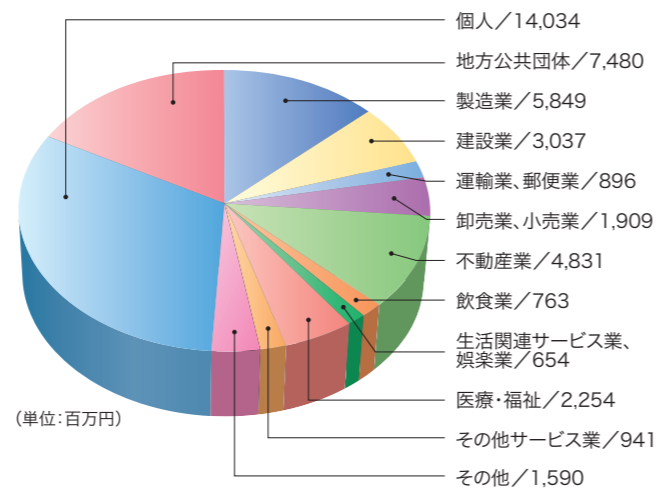
預り資産の内訳

26年9月末残高 4,226百万円



貸出金の内訳

貸出金業種別内訳26年9月末



(注)業種別区分は日本標準産業分類に準じて、残高5億円以下の業種を「その他」表示しております。

損益の状況

(単位:百万円)

科目	平成26年9月末	平成25年9月末
業務純益	58	258
経常利益	174	267
当期純利益	137	193

損益の状況について

当期業務純益は、国債等債券売却益等が前年同期比163百万円減少したことにより58百万円と前年同期比199百万円減少しました。

なお、株式等売却益が前年同期比75百万円増加したことを受け、経常利益は174百万円、当期純利益は137百万円となりました。

自己資本比率の状況

(単位:百万円、%)

項目	平成26年9月期	平成26年3月期
コア資本に係る基礎項目 (A)	4,535	4,445
コア資本に係る調整項目 (B)	11	-
自己資本額 (A)-(B)=(C)	4,523	4,445
リスク・アセット等計 (D)	42,934	41,361
自己資本比率 (%) (C)/(D)	10.53%	10.74%

(注) パーゼルⅢ国内基準に基づく開示を行っております。

国内基準4%を大きく上回っております。

自己資本比率は、総資産に対する自己資本の割合を表す比率で、金融機関の健全性を示す代表的な指標であり、その値が高いほど各種リスクが顕在化したときの耐久力が充実していることを表しております。

なお、国内で営業している金融機関の場合は、この自己資本比率が4%以上の水準であれば、経営が健全である金融機関とされています。

当期の自己資本比率は、自己資本額が当期純利益137百万円計上により78百万円増加となりましたが、リスクアセット額において対象となる貸出金が958百万円増加したことにより26年3月期比0.21%低下しました。

保有有価証券の時価情報

当金庫では、有価証券を購入する際に『満期保有目的』と『その他』に区分しております。

満期保有目的の債券は、『満期まで保有する』ことを目的としています。一方、その他有価証券は、長期的な時価の変動により利益を得ることを目的としています。

(単位:百万円)

満期保有目的の債券	種類	平成26年9月末			平成26年3月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	71	76	4	73	77	3
	その他	-	-	-	-	-	-
小計	71	76	4	73	77	3	
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	199	183	△15	199	169	△29
小計	199	183	△15	199	169	△29	
合計	270	259	△11	273	247	△25	

(注) 1. 満期保有目的の債券で時価のあるものは、償還まで保有することを条件に簿価(償却原価)をもって評価することが認められています。

(単位:百万円)

その他有価証券	種類	平成26年9月末			平成26年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	評価差額	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	656	553	102	636	518	117
	債券	19,579	18,991	587	21,127	20,586	541
	国債	4,166	3,951	215	4,159	3,965	194
	地方債	4,992	4,759	232	4,849	4,660	189
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	10,421	10,280	140	12,118	11,961	157
	その他	2,049	1,905	144	1,317	1,234	83
小計	22,285	21,450	834	23,081	22,339	742	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	144	157	△13	190	207	△17
	債券	1,302	1,302	△0	728	728	△0
	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	99	99	△0
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	1,302	1,302	△0	628	628	△0
	その他	198	200	△1	704	735	△31
小計	1,644	1,660	△15	1,622	1,672	△49	
合計	23,930	23,110	819	24,704	24,011	692	

(注) 1. その他有価証券で時価のあるものは、時価会計により当該事業年度末に時価評価を行い、時価をもって貸借対照表価額としています。
2. 上記のその他は、外国証券及び投資信託等です。

金融再生法に基づく開示債権の状況

(単位:百万円、%)

項目	平成26年9月末	平成26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	246	255
危険債権	1,219	1,225
要管理債権	342	984
金融再生法開示債権計①	1,808	2,465
正常債権	42,565	40,714
合計②	44,373	43,179
総与信に占める割合 (%) (①/②)	4.07%	5.70%

(注) 1. 左記の平成26年9月末の金融再生法に基づく開示債権にあたっては、信用金庫業界における「半期情報開示に関する基本的な考え方」に基づき、簡便方法による自己査定結果を反映させた金額を開示しております。

2. 平成26年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分残高を前提とし、同年4月から9月末までの間に倒産、不渡り等客観的事実並びに内部格付の引下げがあった債権について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。

3. 平成26年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末時点における残高を前提とし、同年4月から9月末の間に正常債権のうち①新たに3ヶ月以上延滞となった債権、②内部管理上新たに条件緩和債権になったと認識している債権を加算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に変更となった金額を減算しております。

地域密着型金融への取組み

地域密着型金融について、当金庫は、「平成26年度地域密着型金融推進計画」を策定し、同計画に基づき取り組んでおります。取組みの概要につきましては、当金庫ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

なお、地域密着型金融の一環として“金融の円滑化”に全力で取り組んでおります。その結果、「金融円滑化法」施行の平成21年12月から平成26年9月までの「貸出条件の変更等」の取扱実績は以下の通りであります。

(単位:件、百万円)

貸付債権内訳	受付		実行		謝絶		審査中		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業向け	825	13,464	808	13,109	1	36	2	4	14	314
住宅資金借入者向け	62	748	51	600	1	10	1	15	9	121